ギャップイヤー：概念整理と導入提言

JGAPは、
大学生（高等教育）を取り巻く環境を
「社会的問題」と捉えています。

高等教育の国際競争力の低下（世界大学ランキング、留学機会の多寡等）、大学生の自殺増加（就職を苦に自殺が1年で倍増）、就活による修学・研究活動への妨害、”内向き”志向等

JGAPは、
大学の再定義を提案しています。
従来の教育・研究機能から、就業・社会体験機能を学部教育に編み込み、
おとなの「高等教育人」育成機関へ

PDF Driver
e 1993
rk Sample Seal
ool

ビジョン：私達の目標

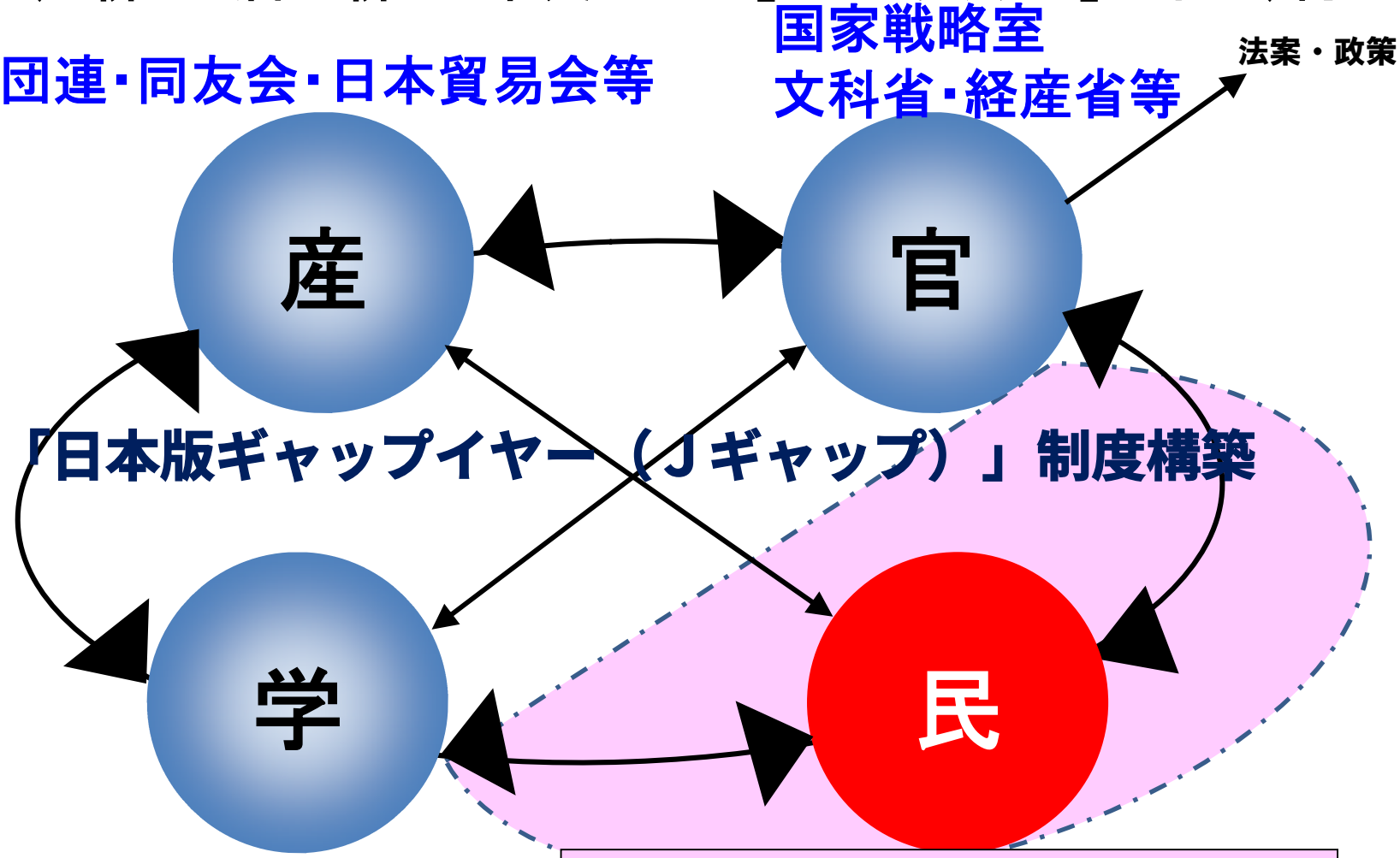
DocuCom
Sinc
PDF Waterma

- 日本の大学生誰もが、望めば「ギャップイヤー」を経験できる国に！！（高等教育の“標準装備”に）

- ギャップイヤーを導入しようと考えている大学関係者・教職員・ギャップイヤー支援者に対し、説得力ある、そして信頼性ある情報提供（講演や有効な資料満載のウェブサイト構築等）

- 併設のシンクタンク「ギャップイヤー総研」による提言

現在導入大学は1桁。今回は「産官学民」の知恵結集で、
過去頓挫した「ギャップイヤー」を大学の標準装備に！
今回は、「新しき酒は新しき革袋に盛れ」で「Jギャップ」と呼び、再生！



「民の知恵結集」とのストラテジック・アライアンスの構築

ＪＧＡＰは、以下の民間団体に「民」の結集、協力・支援を呼びかけします。
大学インターン事業者、社会起業支援グループ、大学就学支援グループ、プロボノ支援グループ、ＮＰＯ等との連携・情報交換・意見交換

PDF Driver
e 1993
ark Sample
DocuCom
Since
PDF Waterma

ギャップイヤーを日本に定着させると、例えば、こんなロールモデルが・・・・

※JGAPのギャップイヤーの定義：数ヶ月以上を要した親元離れたインターン・ボランティア・国内外留学

社会的問題発見・解決能力や胆力がある人の育成

- グローバル人材
- 日本・地域問題解決型人材

※例えば、公式ウェブサイトの「私のGAP　YEAR時代」に登場する人物

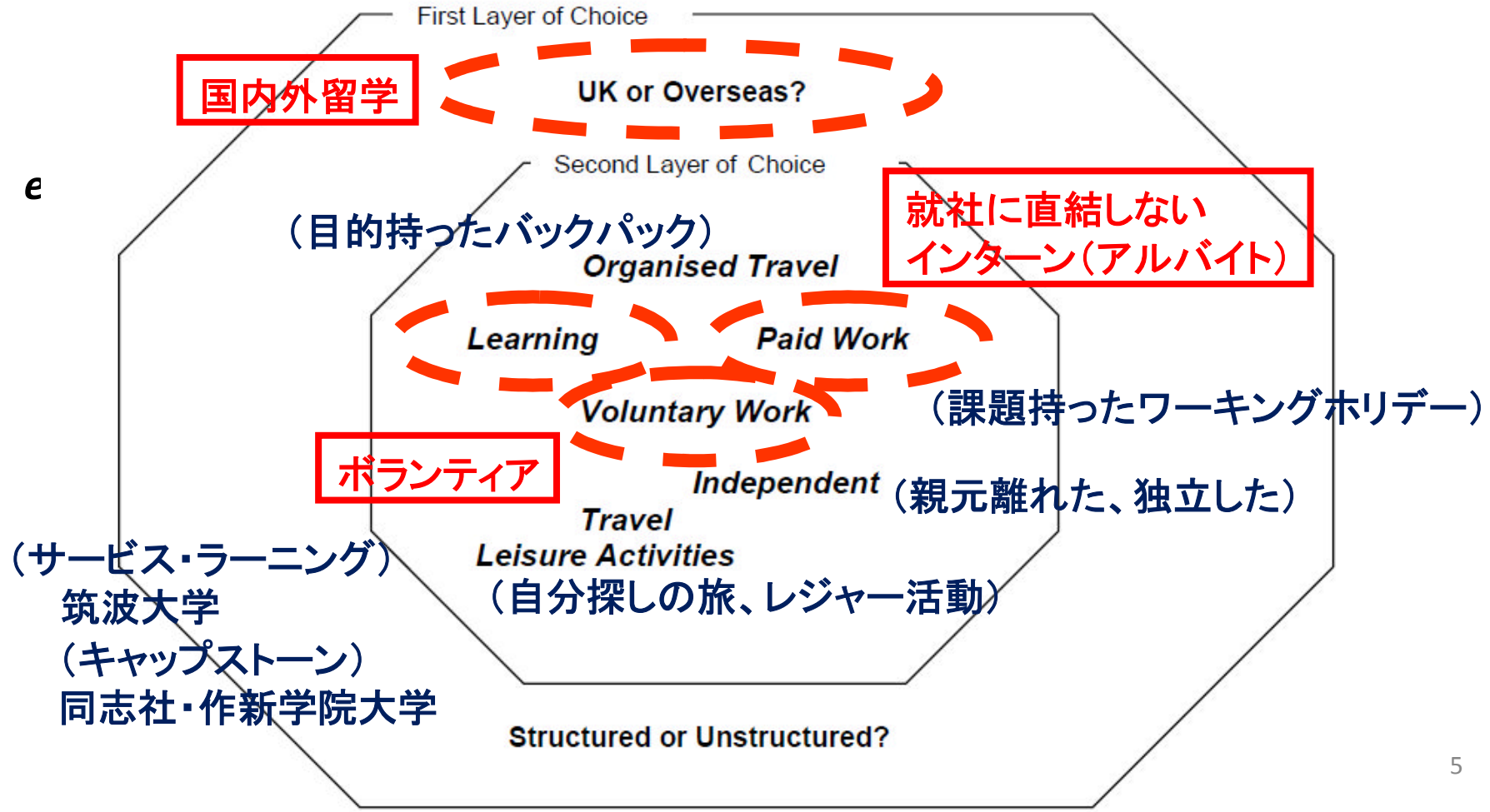
ETIC受託の内閣府社会起業育成委託事業
3期60名のうち、7割
がギャップイヤー経験者

社会的課題をビジネスの手法を用い、解決していこうとする社会起業家や社内起業家を創出

2004年ロンドン大学Andrew Jones教授の
英国・教育技能省受託研究「ギャップイヤーの概念図」

「日本版ギャップイヤー（愛称：Jギャップ）」の要素は、親元離れたインターン・ボランティア・国内外留学

Model of Choice in Gap Year Activities



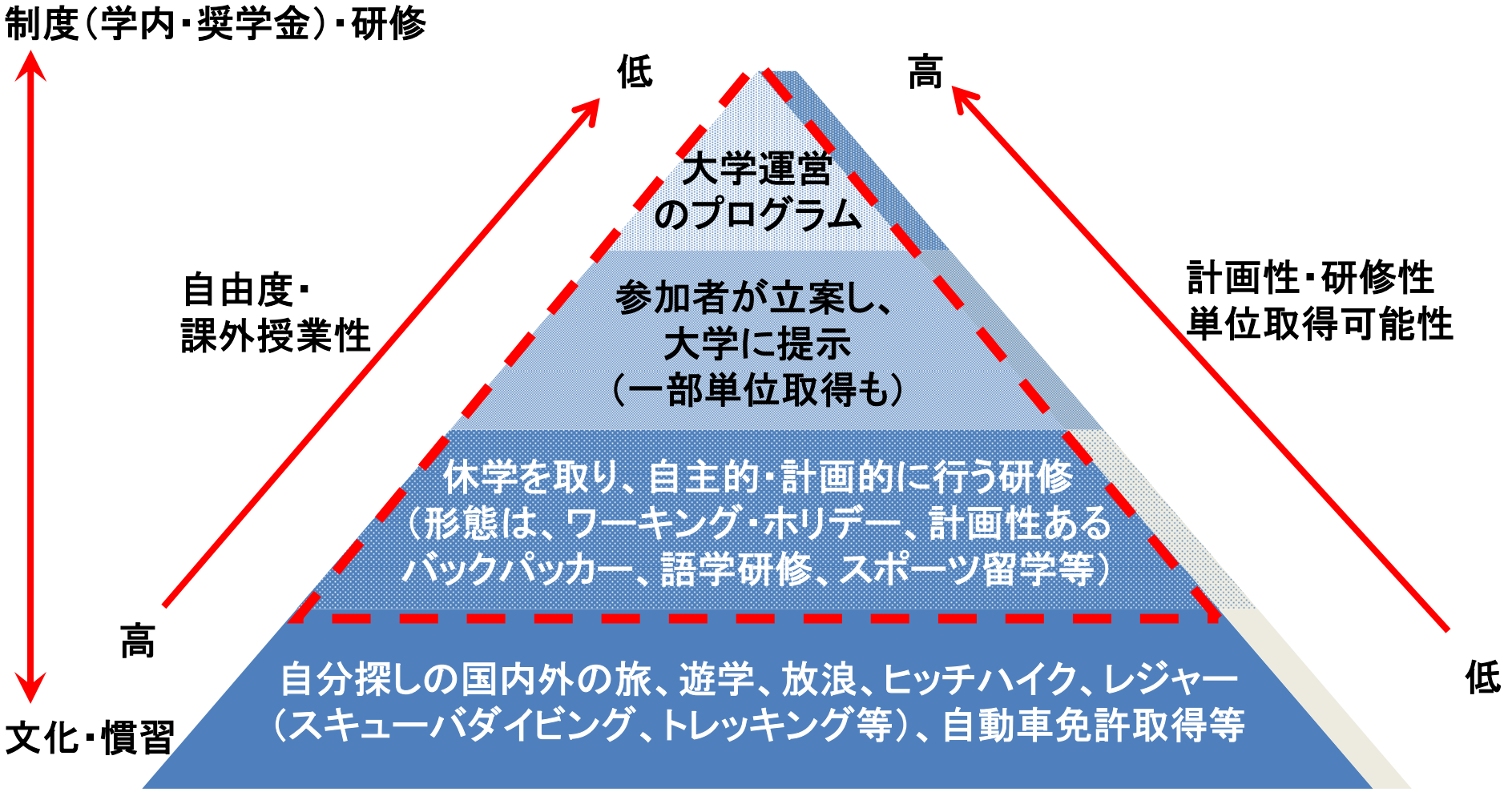
PDF Driver
e 1993
ark Sample Seal
DocuCom
Since
PDF Waterma

ギャップイヤーの階層イメージ

GAPJ

copyright

定義は“親元離れた、数ヶ月以上のインターン・ボランティア・国内外留学（正規外）”



日本の教育現場のコンセンサスは、赤い破線の第3階層までか？文化・慣習として定着してくると、第4層も認識されることになる。第1階層はプリンストン大、2は国際教養大等がモデル

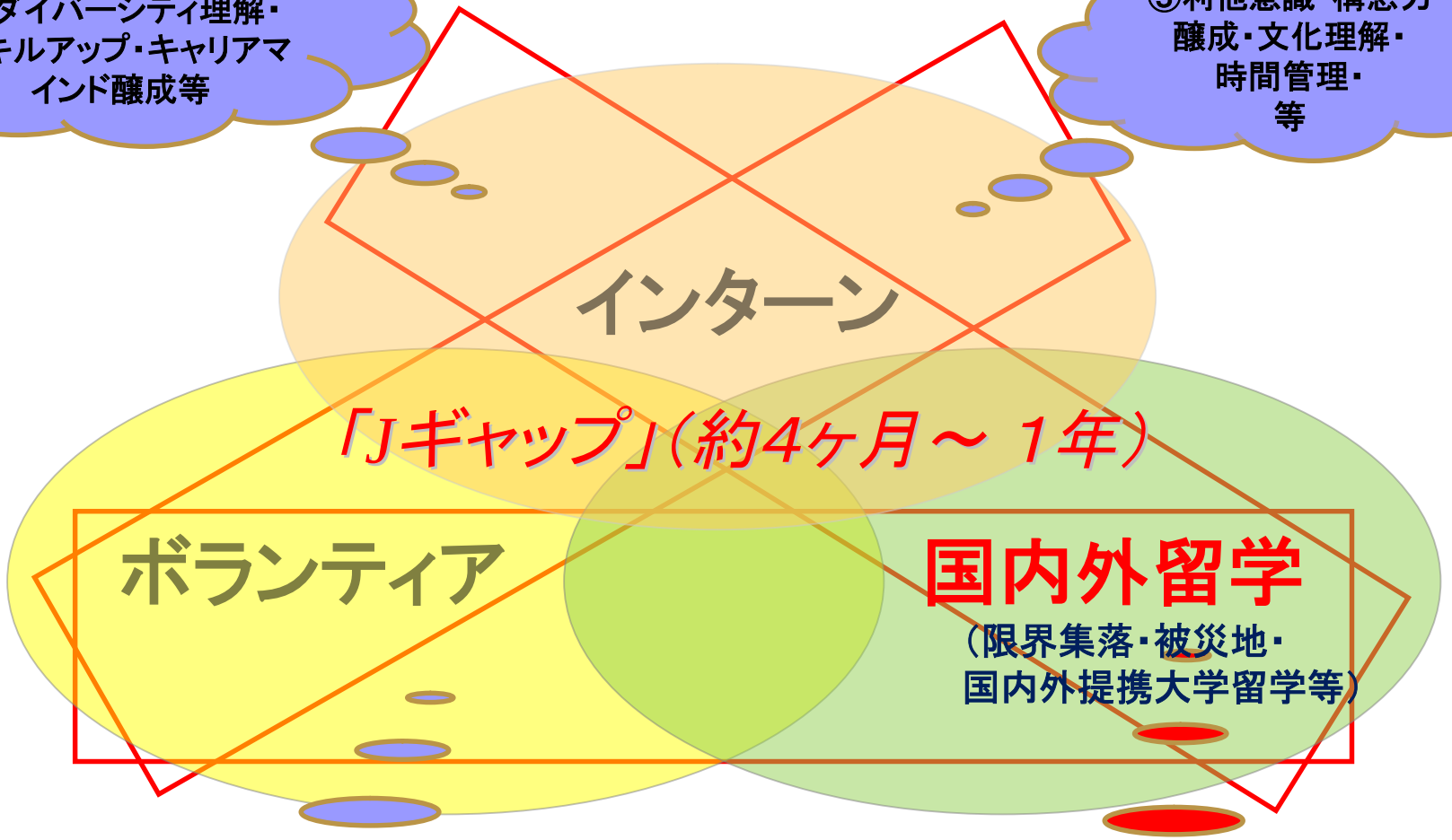
PDF Driver
e 1993
ark Sample Seal
DocuCom
Since
DF Waterm

JGAPが高等教育機関に導入を提唱する

「日本版ギャップイヤー（Jギャップ）」3軸モデル

②ダイバーシティ理解・スキルアップ・キャリアマインド醸成等

③利他意識・構想力醸成・文化理解・時間管理・等



①コミュニケーション能力向上・社会問題理解・地域地方理解・内省等

まずは、親元離れた“非日常性”を構築することが肝要

日本の大学の再定義

GAP

高等教育人材育成＝日本のリーダー輩出

就労・社会体験機能

インターン（就社に直結しない本格的な）・ボランティア・国内外留学

修学機能

研究・教育・社会貢献（地域貢献）

＋

未就労卒業生
「3年以内3割」転職者

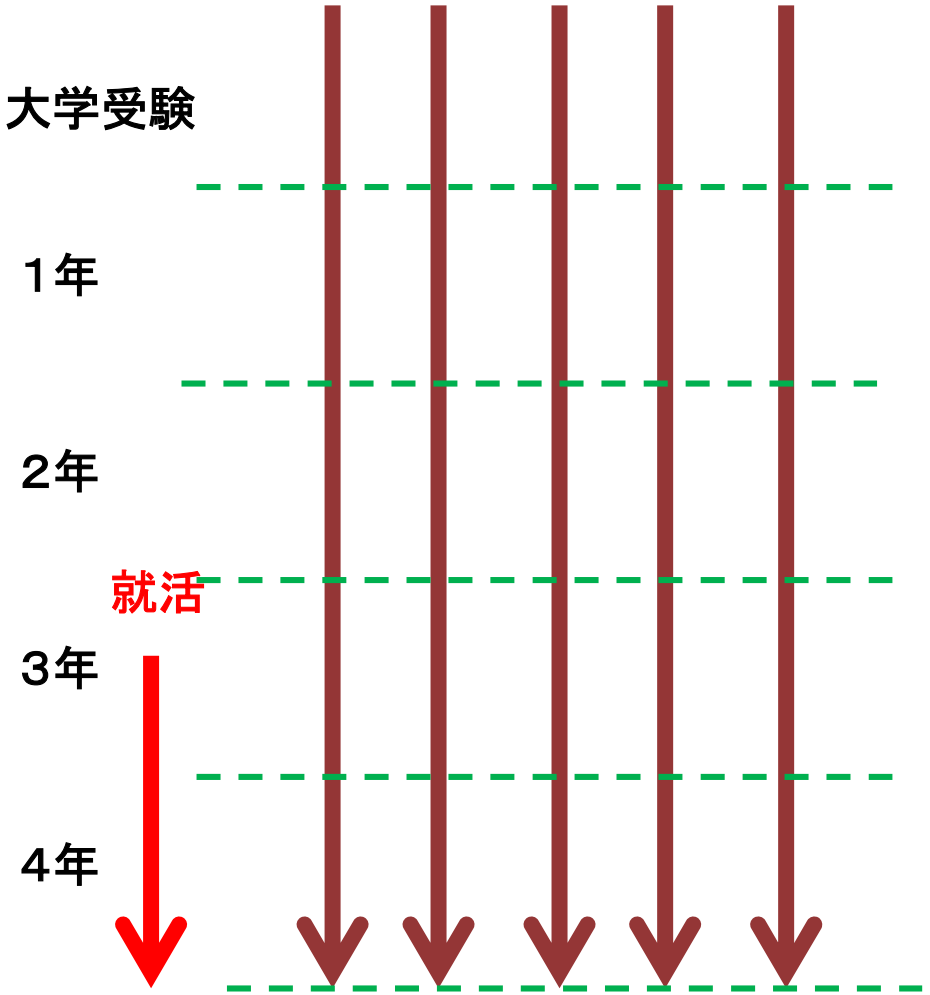
文科省・経産省・厚労省の連携

「高等教育人材育成」のために大学は存在するというコンセンサスが必要

これまで、大学のミッションは修学機能の縦糸だけだった！

オックスフォード大・苅谷教授は「様々な調査が示すように、国際的にみても日本の大学生は大学外での授業が短い。授業の予習もない。多くの文献を読みこなし、自分の考えを論理的に表現することが求められるリポートを書くことは米国では当たり前（中略）。**日本の大学はアルバイトと就活のための期間に見えてしまう**」（出所：日経4月20日付朝刊）

従来の大学の修学機能（研究・教育・社会貢献）

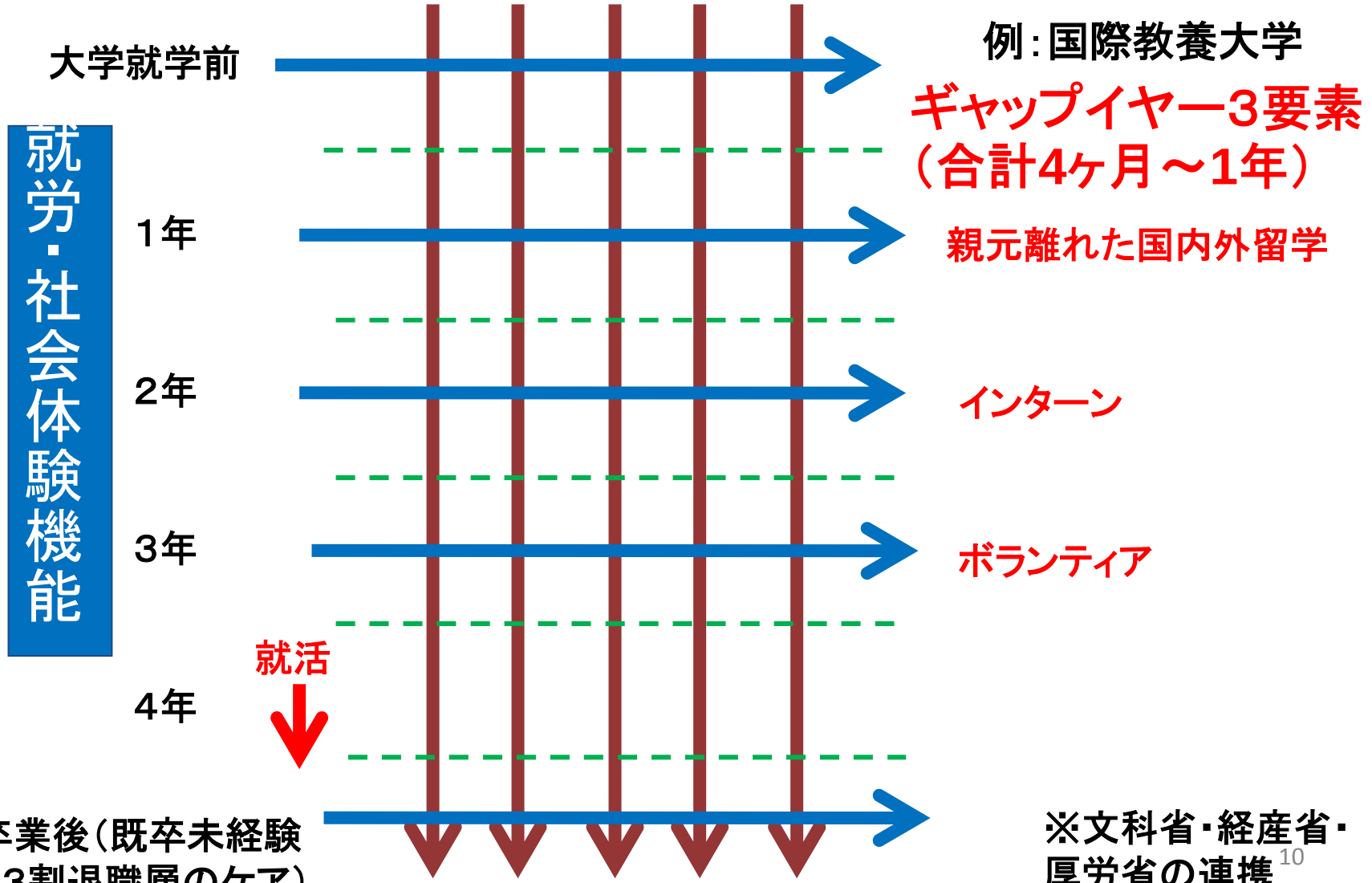


卒業、社会へ！

PDF Driver
e 1993
rk Sample
DocuCom
Since
PDF Waterma

大学のミッションは修学機能の縦糸だけでなく、就労・社会体験機能の横糸をつむぎ、「日本のリーダーの輩出」をミッションとする。

大学の修学機能（研究・教育・社会貢献）

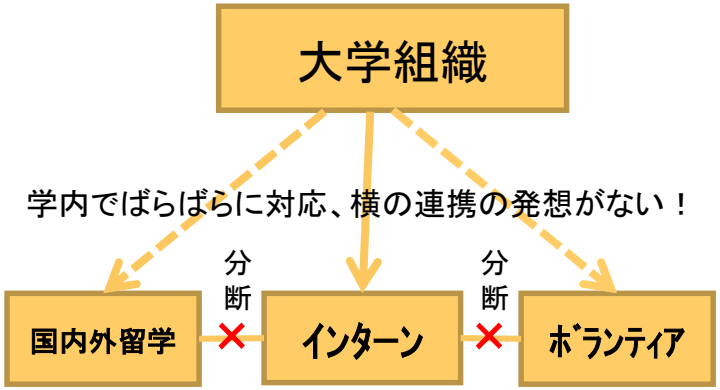


併設シンクタンク：ギャップイヤー総研の提言

ギャップイヤー導入はキャリセン・ボラセン・国際部をワンストップの学長直轄の組織に

JGAPが提唱する3軸モデルの論拠：「日本ではいわゆる留学やインターンシップとして大学関係者の間でもなじみのある活動が含まれているが、英国においてはGY（ギャップイヤー）がもつ多様性の中にこれらを含めて考えられているととらえることもできる」
出所：文科省　2010年8月「ギャップイヤー公表資料」http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/__icsFiles/afieldfile/2010/08/30/1296718_2.pdf

典型的な従来の大学



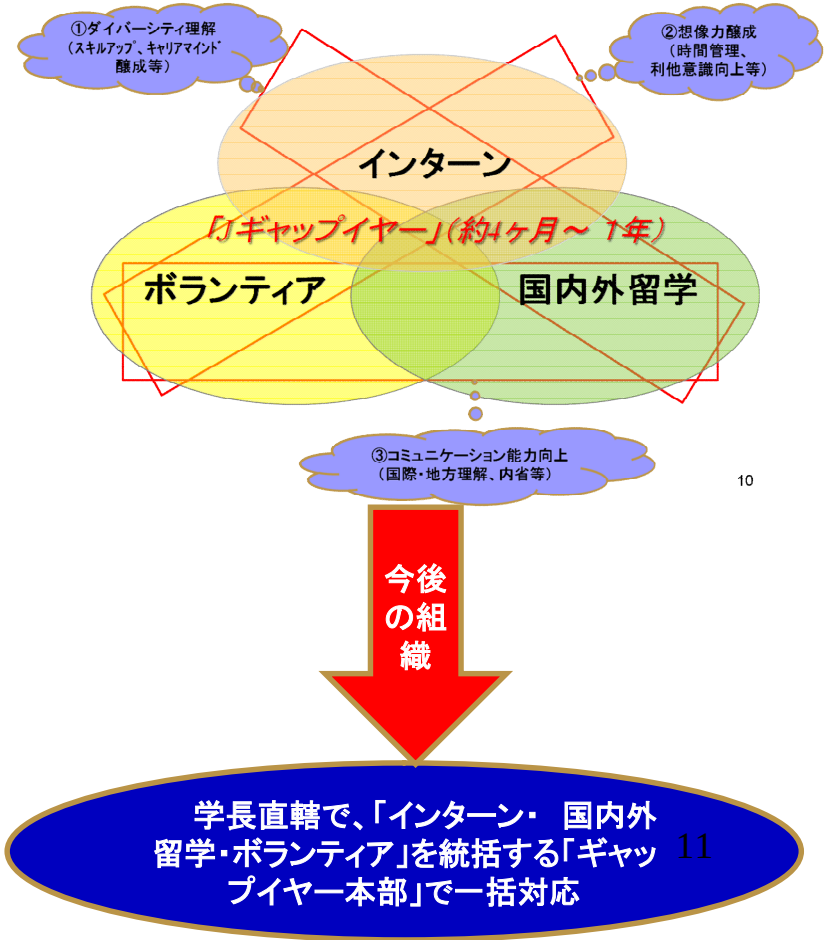
国際部等の名称で、海外提携大学への対応をしているが、国内留学の意識はない。

就職課・キャリアセンター等で対応

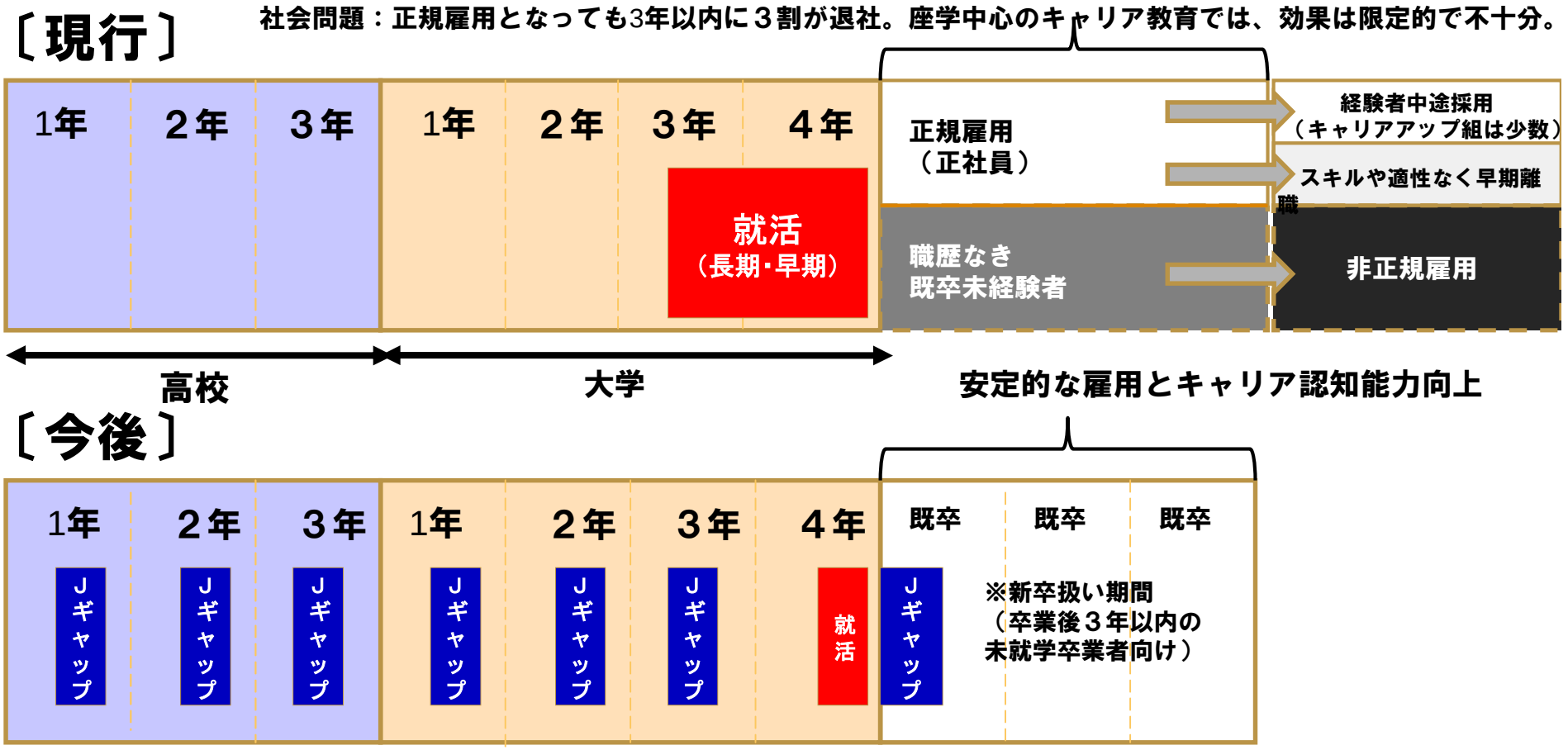
大学組織内のボランティアセンターや学内クラブ、学外機関が対応。
　最近になって、米国で生まれたサービス・ラーニングを標榜する大学が出現。

概念形成

JGAPが高等教育機関に導入を提唱する
「日本版ギャップイヤー」3軸モデル



このままの長期・早期の就活期間が続くと、「失われた高等教育の10年」になることは自明。高校から大学時代にギャップイヤー制度を組み込み、本格的な就労・社会体験を行うことで、1．人材の国際競争力向上　2．高校・大学での中退防止　3．既卒のセーフティネットづくり　4．スキルと職業認知能力向上での早期離職防止を実現する必要がある。現行だとハッピーなキャリアアップ組は、少数。提言内容は以下の通り。



赤箱：現行の就活期間（最長１年半）。ESや説明会等で、学生・企業とも疲弊。提言では、今後は４年生の夏以降とする。

青箱：日本版ギャップイヤー（Jギャップ：親元を離れ、インターン・ボランティア・国内外留学を体験する。期間は2要素以上、計４ヶ月～１年）を組み込む。高校・大学・既卒の中で、就活短縮・晩期化や夏休みを利用して１～２回を組み込み、「人生を強く生きる専門的スキルとマインド」を高め、高等教育の国際競争力を向上させる。単位認定されれば、休学なしに卒業

「就活の負のスパイラルの構図」を崩す

例えば、「就活」を半年短縮すれば、時間的に4ヶ月程度のギャップイヤーが生まれる

国際競争力ある高等教育の推進
（「大学生の人材育成」の成功モデル）

就職難（先進国並に）

就活を半年から1年短縮

就活の短期化と晩期化の実施で、Jギャップ実現！

就活短縮との相殺で日本版ギャップイヤー（Jギャップ）を導入で、親元離れた就労・社会体験である「インターン・ボランティア・国内外留学」を経験し、コミュニケーション・スキル等就業力と人間的成長

授業・ゼミ不活発から脱却
（現状：就労・社会体験できず、特に、人文・社会科学専攻者はスキルもマインドもなし）

悪循環からの脱出

マイナス思考からの脱却
（現状：学生は長期就活で焦り・不安で、疲弊。企業は日本の学生のスキル・キャリア意識不足に魅力感じず。大学の人材育成に疑問。雇用枠を外国人留学生に求める企業も）

つまり、大学1学年の1割（約7万人）が9月入学にするか、「就活」を制度として4ヶ月間短縮できれば、ギャップイヤー（Jギャップ）体験ができる。福祉ボランティアや一次産業でのインターンを各2ヶ月間行うと、400億円の価値創造

出所：2011年3月のギャップイヤー総研提言

約400億円の若者の“バリバリ”の労働価値が、社会的弱者に還元できる可能性がある。

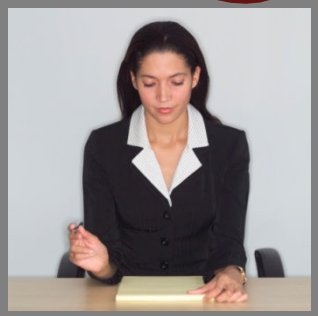
1年半にわたる「就活」を4ヶ月縮めると、社会的弱者に「労働価値」を還元できる可能性がある。

「ギャップイヤー」で、意識高いテーマを持って、生き方と社会の断面を発見できる

ギャップイヤー（4ヶ月プログラム）
一次産業インターンと福祉ボランティア

4ヶ月7万人の振替で400億円の価値創造

就活・・現状最悪1年半の疲弊する時間



日本に“生産的な”経済的価値と“生きた”スキルと時間が創出できる。

例えば、長期の就活は、はたして生産的で健全でしょうか？今や、大学生の国際競争力の視座から、期間も議論すべき

PDF Driver
e 1993
ark Sample Seal
DocuCom
Since
PDF Waterma

朝日新聞「ニッポン前へ委員会」提言の「若者復興支援隊」と「東北自由大学」はギャップイヤーそのもの

2011年07月22日10時51分

砂田薫 プロフィール
記事一覧(3) | ブログ

15 ツイートする　0 いいね！

本日7月22日付朝日新聞朝刊で、朝日の「ニッポン前へ委員会」の提言が報告されている。この委員会は、東日本大震災からの復興に向けて、若者の参加を促す提言をするために4月に発足していて、職業・構成員を見ると、大学教員（平田オリザ氏他）6名、市長1名、建築家、銀行員1名の9名となっている。

BLOGOS トピックス

- 民主党にしては"珍しい良案" new
- 地デジ化の次に政府がすべきこと new
- 虚像を育み続けたマスメディア
- 献金で政治を腐らせない方法は
- テロ発生ノルウェーのナイーブさ new
- 玄海原発、伝わらぬ現地の声
- 日本人のマインドは変わるのか

BLOGOS 編集部

①国が給与を払う「若者復興支援隊」
卒業後も就職が決まらない人をはじめ、15歳から35歳くらいの男女が対象。国が窓口になって、一定の研修後、被災地の自治体や組織団体に派遣する。1～3年ほど働き、活動を通じて技能を磨き、資格も取れるようにする。その間は月15万円程度の給与を払うというもの（1万人参加で年間予算180億円、第三次補正予算）。終了証も交付し、その後の就職活動に生かしてもらう。給与は被災地で消費されるため、経済効果も期待できる。**これは 海外青年協力隊の国内版といえる。もちろん、各地域や農漁村の要望と、派遣する人材のマッチングは重要だ。**

②アドホックな「東北自由大学」
復興に携わりながら大学の単位をとれる大学なる。は、国内外の学生が被災地に「留学」して単位を得られる仕組み。ボランティア活動や震災の研究活動に取り組めるようにする。卒業証書の発行はなく、既存の大学で行い、希望する一定期間をこの大学で過ごす。**教員も各大学からの出向で、自由に授業を設計し、運営するとある。しかし、私はこれは実現は乏しいと考えている。属している残された大学のその教員の授業が成立しなくなるからである。むしろ、ポスドクを有期で雇用し、力をつけてもらい、こちらも「修了書」を出して、次なるキャリアアップを目指してもらうほうが現実的だ。**

PDF Driver
e 1993
rk Sample Stamp
DocuCom
Since
PDF Waterma

日本の良き伝統の諺3つ

「かわいい子には、旅をさせよ」

手許からはなしてつらい経験をさせ、世の中の辛苦をなめさせた方がよい

「情けは人のためならず」

情けを人にかけておけば、巡り巡って自分によい報いが来る

「他人の釜の飯を食う」

他家に奉公するなどして、多くの人にもまれて実社会の経験を積む

GAPjの主張

目的持った

「かわいい子には、旅をさせよ！」

「情けは人のためならず」

「他人の釜の飯を食う」

の具現化が

“ギャップイヤー”

- 国内外留学（課外、正規外が基本）
- ボランティア

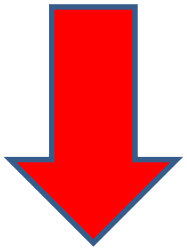
社会体験

- インターン

就業体験

PDF Driver
e 1993
ark Sample Seal
DocuCom
Since
PDFwaterma

Q：ギャップイヤーは、「ゆとり教育」回帰？



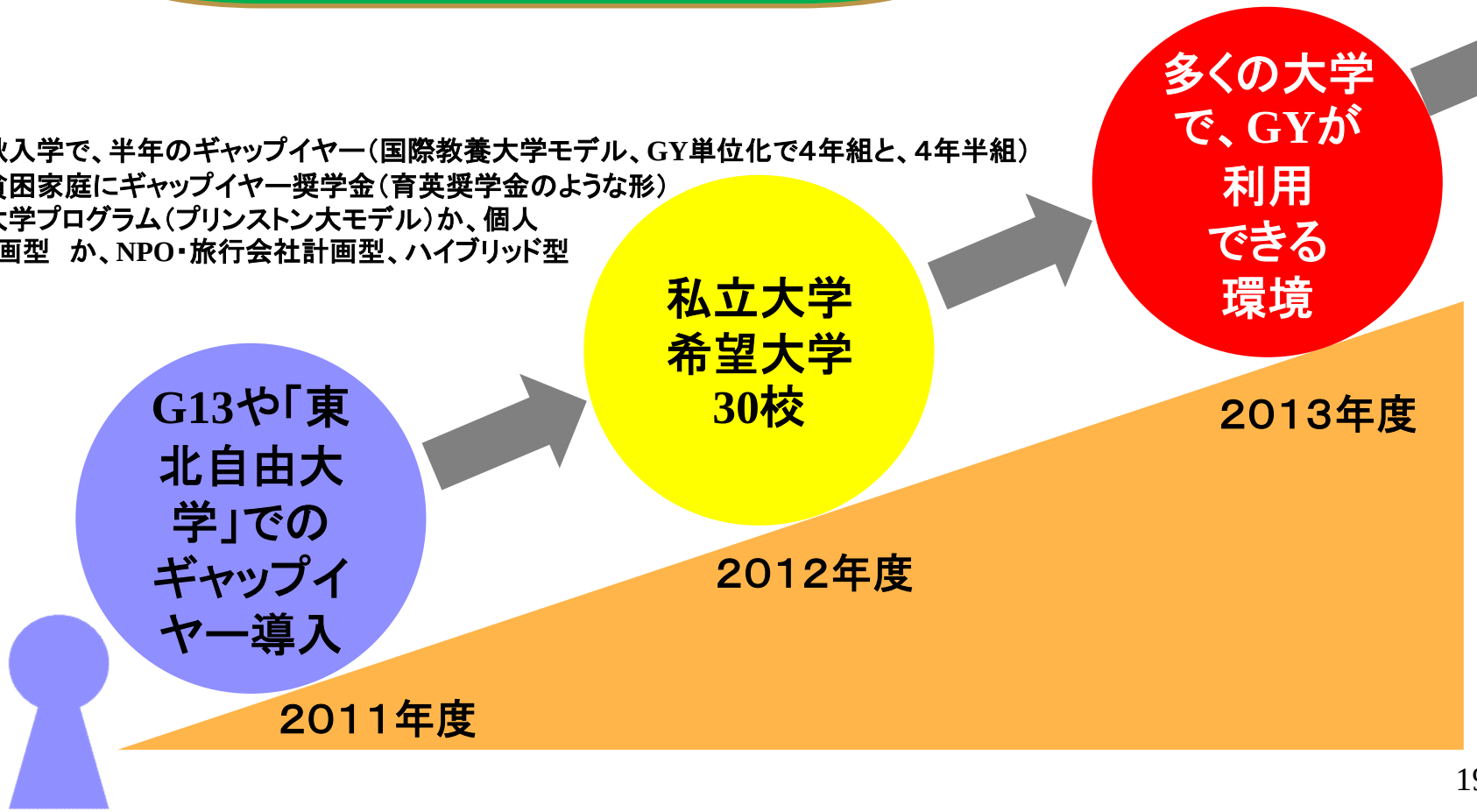
A：そうではなく、メリハリをつけること。
オン状態だった受験高校生や、「就活」で疲弊した大学4年生（また、職歴なき既卒未経験者・卒業3年未満退職者）が主体。
　再学習を要する生徒や学生は、対象外か。問題意識ある大学からの導入が肝要。導入モデル大学の制定も考えられる。

予算化して、ギャップイヤー（希望大学・希望大学生・希望社会人）の導入実験

ギャップイヤーの導入ロードマップ（案）

・大学の国際競争力強化
・社会問題発見解決型人材育成

・秋入学で、半年のギャップイヤー（国際教養大学モデル、GY単位化で4年組と、4年半組）
・貧困家庭にギャップイヤー奨学金（育英奨学金のような形）
・大学プログラム（プリンストン大モデル）か、個人計画型　か、NPO・旅行会社計画型、ハイブリッド型



「ダイバーシティの国」になり、高等教育の国際競争力強化へ